

(論文)

## 変形労働時間制による健康経営の状況と考察

### Consideration of Health Management Issues under Flexible Working Hours System

田邊 友昭

Tomoaki Tanabe

#### 要旨

2021年『令和3年就労条件総合調査の概要』厚生労働省によると、変形労働時間制を採用している企業は59.6%あり、変形労働時間制の適用を受けている労働者の割合は48.9%である。ほぼ半数の労働者が、変形労働時間制で勤務している。総務省「労働調査」によると第三次産業従事者は1970年の27%から2021年は74%と上昇している。そのような環境下で、労働者の労働環境や企業の健康支援対策を踏まえ、今後、労働者の健康支援対策をすることでどのようにして健康経営<sup>1</sup>を継続していくかを交通関連職中心に考察していく。

**キーワード：** 変形労働時間制、24時間週7日経済、働き方改革、鉄道乗務員、健康経営

---

<sup>1</sup> 企業が従業員の健康に配慮することによって、経営面においても大きな成果が期待できるとの基盤に立って、健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実践すること。特定非営利法人健康経営研究会が提起した用語（登録商標）である。